

# 平成26年度 事業報告書

公益財団法人 日本シルバーボランティアズ

## 1. 派遣事業（公1）

### 1) 一般地域への派遣事業概要

派遣国並びに派遣者総数は、ベトナム20、タイ5、カンボジア5、インドネシア1、スリランカ2、パラグアイ4、フィリピン3、ボリビア1、インド1の9カ国、42名であった。

派遣国としては、昨年度に加え新たにカンボジア、インドネシアへの派遣が実現した。派遣専門分野は、日本語教師37名、障害児介護2名、派遣調査3名であった。

今後の課題としては、①限られた派遣費用の有効利用を図るための諸施策の検討、②会員の高齢化に対応した極力若手会員の獲得に努める事等に留意しつつ、引き続き日本との経済・文化面の関係が深い東南アジア諸国を中心に、広く各国からの当財団ボランティアへの期待に応えるべく、派遣を継続して行きたい。

### 2) 中国への派遣事業概要

年度中における専門家派遣総数は57名（66案件）、その分野別派遣数は農林水産関係44名、鉱工業関係9名、経営経済関係2名、調査関連が2名であった。この57名は例年並みの派遣数であるが期初の計画は65名であった。

中国では昨年来、中央政府の経費削減策が布かれ、当専門家派遣活動にも若干その影響が出始めている。今後は中国においてその活動結果／成果がより問われることになろうが、中国内における専門家への評価は依然高く、今後も活動の地道な継続が可能と考えている。

なお、現在の主たる派遣地域は山東省・河南省・河北省・安徽省などで、農林水産関係案件が依然主流を占めている。

### 3) 国別派遣者数

東アジア	57名（中国57名）
東南アジア	34名（ベトナム20名、タイ5名、フィリピン3名、カンボジア5名 インドネシア1名）
南西・中央アジア	3名（スリランカ2名、インド1名）
南米	5名（パラグアイ4名、ボリビア1名）
合計	99名（法人開設以来の派遣者数4,694名）

（平成25年度 98名 平成24年度 98名 平成23年度 88名）

#### 4) 費用負担別派遣者数

中国 57名 (66案件)  
(中国科技交流中心扱 57名)  
法人の助成 33名 (霞会館20名、尚友倶楽部13名)  
その他 9名 (自己資金 9名)

#### 5) 部門・分野別派遣者数

農林・水産部門	44名	果樹 24	畜産・飼料 6	畑作 4	花卉 2	食品加工 2
		植林 2	きのこ 1	鯉養殖 1	土壌改良 2	
工鉱業・技術部門	9名	自動車 2	建築工学 2	排水処理 2	金属 1	縫製 2
経済・経営部門	2名	生産管理 1	観光 1			
社会教育文化部門	2名	介護 2				
日本語教育部門	37名	日本語教師 37				
調査・業務部門	5名	中国 2	インドネシア 1	カンボジア 1	ベトナム 1	
合計	99名					

## 2. 登録業務 (公1)

専門分野別	人数( )内女性			年齢別	人数( )内女性		
農林・水産	76	(2)	23.7 %	80歳以上	58	(7)	18.1 %
建築・土木	8	(0)	2.5 %	70歳代	112	(23)	34.9 %
鉱工業・技術	44	(3)	13.7 %	60歳代	78	(29)	24.3 %
経済・経営	16	(0)	5.0 %	50歳代	23	(7)	7.2 %
医療・保健・衛生	6	(4)	1.9 %	40歳代	8	(3)	2.5 %
社会・教育・文化	18	(12)	5.6 %	30歳代以下	42	(31)	13.1 %
日本語教育	153	(79)	47.5 %				
合計	321	(100)	100.0 %	合計	321	(100)	100.0 %

平成25年度 (321名) 平成24年度 (340名) 平成23年度 (360名)

### 3. 事業推進に係る内外諸機関・団体との協力、交流、情報交換等（公1）

専門家派遣事業に係る内外諸機関・団体との協力、交流、情報交換等につき、以下の活動を行った。

- (1) 丸山理事長、小高理事、神服理事が、在京中国大使館の李纓 公使参事官他と両国間の諸情勢につき意見交換を行った（5月）。
- (2) 丸山理事長、小高理事、神服理事が、中国科学技術交流中心の邢継俊 副主任を団長とする訪日代表団と中国派遣事業の意見交換及び同中心による派遣経費支援協定書の調印を行った（6月）。
- (3) 丸山理事長、小高理事が、中国科学技術交流中心主催の平成27年度派遣要請に関する全国会議に出席するため内蒙古自治区ホロンバイル市に出張した（6月）。
- (4) 島村理事が、インドネシアに出張し、日本語教育の現状視察及び関係者との意見交換を行った（9月）。
- (5) 島村理事が、カンボジアに出張し、日本語教育の現状視察及び関係者との意見交換を行った（11月）。
- (6) 松本評議員会議長、丸山理事長、神服理事が、「インフィニティー21」を訪問、活動支援要請を行い、財政支援を受けた（11月）。
- (7) 小高理事が、日本技術士会主催の講演会（同会会員への海外活動支援案内）にて当財団の歴史・活動概況につき講演を行った（1月）。
- (8) 丸山理事長、小高理事、神服理事が、中国科学技術中心の邢継俊 副主任を団長とする訪日代表団と平成27年度派遣見通し等につき意見交換を行った（3月）。
- (9) 島村理事がベトナム、カンボジアに出張し、日本語教育の現状視察及び関係者との意見交換を行った（3月）。

### 4. 助成金・寄付金・賛助金について（公1）

関係諸団体・企業に加え、新たに「インフィニティー21」及び「中国科学技術交流中心」より多額の支援を受ける事ができた。また、登録会員、当財団の役職員を始め個人の方からも寄附金を頂くことができた。

### 5. 広報事業（公1）

- (1) 丸山理事長、小高理事が日中友好協会を訪問し当財団の広報への協力依頼を要請、同協会の広報紙「日中友好新聞」に小高理事の活動紹介記事を掲載してもらった（11月15日）。
- (2) インフィニティー21主催で「当財団のボランティア活動体験談」講演会が行われ、多くの参加者のご理解を得た（3月11日）。
- (3) 会報「JSV NEWS」（年2回発行）を当財団を支援して頂いている関係機関、団体、企業、会員その他の方々に広く配布し、当財団の活動内容の周知に努めた。

(4) 各種派遣案件につき、ホームページに掲載し派遣希望者を募っている。

## 6. 総務事項

### 1) 内閣府（公益認定等委員会）関係

- (1) 「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」第22条第1項に基づく定期提出書類（電子申請方式による）
- ①平成25年度事業報告等に係る提出書—平成26年6月20日に提出。
  - ②平成27年度事業計画書等に係る提出書—平成27年3月5日に提出。

### 2) 理事会・評議員会報告

#### (1) 理事会について

- ① 第1回理事会（平成26年4月21日）
  1. 平成25年度事業報告書を承認可決した。
  2. 平成25年度貸借対照表、正味財産増減計算書並びに財産目録を承認可決した。
  3. 平成26年度定時評議員会の招集を承認可決した。
  4. 理事長の職務執行状況報告がなされた。
- ② 第2回理事会（平成26年6月9日）
  1. 中国科学技術交流中心による中国派遣経費支援協議書締結を承認可決した。
- ③ 第3回理事会（平成27年2月16日）
  1. 職員給与規程の改定を承認可決した。
  2. 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の改定を承認可決した。
  3. 平成27年度理事の報酬額を承認可決した。
  4. 基本財産の一部勘定振替えを承認可決した。
  5. 平成27年度事業計画書を承認可決した。
  6. 平成27年度収支予算書を承認可決した。
  7. 平成26年度第2回評議員会の招集を承認可決した。
  8. 理事長の職務執行状況報告がなされた。

#### (2) 評議員会について

- ① 定時評議員会（平成26年5月19日）
  1. 平成25年度事業報告書の報告がなされた。
  2. 平成25年度貸借対照表、正味財産増減計算書並びに財産目録を承認可決した。
  3. 理事長の職務執行状況報告がなされた。
- ② 第2回評議員会（平成27年2月25日）
  1. 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の改定を承認可決した。

2. 平成27年度理事の報酬額を承認可決した。
3. 基本財産の一部勘定振替えを承認可決した。
4. 平成27年度事業計画書を承認可決した。
5. 平成27年度収支予算書を承認可決した。
6. 理事長の職務執行状況の報告がなされた。

### 3) 役職員の現況について

期末現在の評議員数	7名（非常勤）
理事数	5名（内常勤 4名）
事務局職員数	1名（非常勤）

### 4) 附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書は「事業報告の内容を補足する重要事項」が存在しないので作成しない。

以 上